

(様式 1-3)

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成 25 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	165	事業名	防災備蓄倉庫整備事業			事業番号	◆D-20-2-6																								
交付団体		いわき市	事業実施主体 (直接/間接)			直接																									
総交付対象事業費		126,280 (千円)	全体事業費			134,415 (千円)																									
事業概要																															
<p>東日本大震災では、内陸部も含め 160 箇所を越える 2 次避難所が開設されたが、道路の寸断等により避難所運営に係る資機材等の運送が遅れ、初動対応に課題が残った。特に沿岸地域においては、長期間にわたって停電や断水が続き、避難所運営が困難を極めたことから、沿岸地域又は当該地域に隣接し、津波被災者を受け入れた小・中学校や体育施設など主要な避難所及び災害拠点となる支所 (地区災害対策本部) など計 41 箇所に防災備蓄倉庫及び資機材等を整備するもの。</p> <p>(対象施設)</p> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>小・中学校</th><th>公民館</th><th>体育施設</th><th>支所</th><th>計</th></tr></thead><tbody><tr><td>倉庫と資機材</td><td>23</td><td>5</td><td>1</td><td>3</td><td>32</td></tr><tr><td>資機材のみ</td><td>7</td><td></td><td></td><td>2</td><td>9</td></tr><tr><td>合計</td><td>30</td><td>5</td><td>1</td><td>5</td><td>41</td></tr></tbody></table>									小・中学校	公民館	体育施設	支所	計	倉庫と資機材	23	5	1	3	32	資機材のみ	7			2	9	合計	30	5	1	5	41
	小・中学校	公民館	体育施設	支所	計																										
倉庫と資機材	23	5	1	3	32																										
資機材のみ	7			2	9																										
合計	30	5	1	5	41																										
当面の事業概要																															
<p>&lt;平成 25 年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 防災備蓄倉庫及び資機材の整備 (30 箇所)</li><li>・ 資機材の整備 (9 箇所)</li></ul>																															
東日本大震災の被害との関係																															
<p>東日本大震災発生時においては、避難所運営に係る資機材・非常用食糧等が各支所等に配備していたが、土砂崩れや津波により道路等が寸断されたことや、160 箇所を超える 2 次避難所が開設されたことによる職員の配備の遅れ等により、これらの物資の各避難所への配送が大幅に遅れたほか、多くの地域で停電となり、非常用発電設備を保有しない施設では、照明・暖房及び防犯等の面で支障をきたすなど、初動対応に課題を残したところである。</p> <p>こうしたことから、津波被災地区及び河川遡上地区住民のための主要な避難所及び災害拠点となる支所にあらかじめ防災備蓄倉庫及び資機材等を整備することで初動対応の迅速化を図るとともに、自主防災組織等が中心となった炊出しの実施などにより、共助による円滑な避難所運営が行うなど、被災者の安全・安心の確保につなげていこうとするものである。</p>																															
関連する災害復旧事業の概要																															
なし																															

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	D-20-2
事業名	都市防災総合推進事業（防災まちづくり計画策定支援）
交付団体	いわき市
基幹事業との関連性	
<p>・ 防災まちづくり計画策定支援事業は、東日本大震災における被災状況や災害対応実態の分析を行い、災害対策の課題を整理するとともに、自然条件や社会条件の評価・検証、さらに今後起こりうる地震・津波その他災害等による被害状況を予測する災害アセスメント調査を実施し、災害に強いまちづくりを推進するため基礎資料を作成し、津波被害を受けた沿岸部においては、防災・減災対策を強化するための施設整備計画等を策定するもの。</p> <p>・ 具体的事業内容としては、次のとおり。</p> <p>①<b>防災アセスメント調査（沿岸部）</b> （震災被害・避難行動分析、地震・津波シミュレーション、被害想定（津波）、津波ハザードマップ作成）</p> <p>②<b>沿岸地区別防災・減災計画策定</b> （津波避難計画策定、防災・減災施設整備計画策定（津波誘導サイン、避難路等））</p> <p>③<b>防災アセスメント調査（内陸部）</b> （被害想定（断層・液状化・家屋・人的被害等）、避難所・緊急輸送ルート等の検討）</p> <p>・ 防災アセスメント調査等により、災害予測、被害想定、自然条件、社会条件に関する課題整理を行っているところであるが、解決すべき課題のひとつに初動対応の迅速化や避難所機能の充実による、被災者の安全・安心の確保が挙げられる。</p> <p>・ 本事業は、避難所に防災備蓄倉庫を整備することにより、初動対応の迅速化が図られるとともに、自主防災組織が中心となった共助による避難所運営に寄与するものである。また、地域住民が日ごろから防災備蓄倉庫を目にすることで地域の避難所としての意識付けが可能となることに加え、資機材等を活用して防災訓練を繰り返すことで、地域住民の防災意識の高揚にもつながるなど、「都市防災総合推進事業（防災まちづくり計画策定支援）」の効果発現を促進するものである。</p>	

いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等（いわき市交付分）

No.	165	事業名	防災備蓄倉庫整備事業	効果促進事業	基本国費率(a)	4/5
-----	-----	-----	------------	--------	----------	-----

(千円)

		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降	合計
事業費	総事業費(b+f)			139,720				139,720
	交付対象事業費(b)			126,280				126,280
	うち、市町村以外の者が負担する額を減じた額(C)			126,280				126,280
	うち交付金交付額(d) ○基幹事業の場合 (d) = a × b + (c - a × b) / 2 ○効果促進事業等の場合 (d) = 0.8c			101,024				101,024
	対象外事業費(f)			13,440				13,440
事業工程	交付対象事業			・ 防災備蓄倉庫の設置及び資機材等の整備 (30箇所) ・ 資機材等の整備 (9箇所)				
	対象外事業			・ 消耗品 (発電機用ガソリン缶詰等) の整備 (39箇所)				

復興交付金事業等に要する費用の算出に係る基礎資料(H25年度)

(単位:千円)

復興交付金事業等の名称/目的及び内容		交付金の算出方法	
事業名	防災備蓄倉庫整備事業	総事業費	139,720
箇所名	津波被災地域、地震被害地域及びその周辺地域	対象外事業費	13,440
事業認可告示年月日	-	工事費(A)	126,280
事業施行期間	平成25年度～平成27年度	控除額(B)	
工事施行延長又は積面		交付対象事業費(C)=(A)-(B)	126,280
用地面積及び物件戸数等	面積 - m <sup>2</sup> 件数 - 件	基本国費率	4/5
事業完了予定期日	平成28年2月28日	交付額(D)	101,024
経費の配分		摘 要	
本工事費	126,280	【H25年度】 防災備蓄倉庫及び資機材等の整備	30箇所 118,625
測量設計費		資機材等の整備	9箇所 7,655
用地費及補償費		消耗品(対象外)	39箇所 13,440
船舶及機械器具費		H25 計	139,720
工事費計(A)	126,280	(うち対象事業費)	(126,280)
		(うち対象外事業費)	(13,440)
		本工事費・計	126,280

(参考様式)

## いわき市復興交付金事業計画 復興交付金事業等工程表(平成25年度)

平成25年5月現在

※本様式は1-2①・②に記載した事業ごとに記載してください。

交付団体	いわき市	No.	165	事業番号	◆D-20-2-6	事業名	防災備蓄倉庫整備事業	事業実施主体	いわき市
項 目	平成25年度								備 考
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期					
防災備蓄倉庫の設置及び資機材等の整備									

(注)上記項目について、実施予定時期を矢印で示してください。(なお、項目に該当するものがない場合は当該項目は記載する必要はありませんが、他の項目があれば、適宜書き換えて記載してください。)

(注)同一項目で複数の記載事項がある場合はずらして記載してください。

(注)平成24年度末までに終わらないものや、それ以降に実施するものについては、備考欄に終了時期や実施時期を記載してください。

## 防災倉庫 品目一覧（主なもの）

### 1 防災倉庫 ユアサマクロス製 FMB-301（養生杭打ち、柵一段附属）



いわき市防災備蓄倉庫  
の名前入れ

寸法：4,500×2,200×2,750(mm) 床面積：9.9 m<sup>2</sup>  
自重：1,900kg 室内の高さ：2,140mm

### 2 発動発電機（停電時の電源確保のため）



定格出力	交流	100V-2.6kVA
	直流	12V-8.3A(12V バッテリー充電専用)
連続運転可能時間(h)	約 7.7～約 3.5 [1/4 負荷～定格負荷] ※エコスロットル作動時	
燃料タンク容量(L)	5.9	
全長×全幅×全高(mm)	622※×379×489※ ※ハンドル折りたたみ時	
機体質量[乾燥重量](kg)	35.2	
騒音レベル* [dB(A)/ LWA]	88 [3/4 負荷] ※エコスロットル作動時	
	82～91 [1/4 負荷～定格負荷] ※エコスロットル作動時	

### 3 照明 ライトボーイ製 LB030CS-F (避難所の光源確保、治安対策)



いわき市の名前入れ

### 4 世帯用パーテーション (高さ 120cm 用・災害時要援護者支援策)

#### ワンタッチパーテーション ファミリールーム

災害時、屋内での集団避難生活は想像以上に  
ストレスがかかります。  
被害者の尊重すべき最低限のプライバシーを  
簡単に確保することができます。

- ・全てが一体構造で設営や収納がワンタッチ。
- ・広い空間が一瞬でプライベート空間に早がわり。(4.4㎡)
- ・避難された方のストレスを軽減し、安心を提供します。
- ・1組1室の簡単ユニットです。
- ・収納時の1室の寸法がφ630mm、厚さ40mm。
- ・収納時保管場所をとりません。



ファミリールーム (WT-101A)  
 (高さ1.0m) 価格17,640円 (税別16,800円)  
 (高さ1.2m) 価格19,740円 (税別18,800円)  
 (高さ1.4m) 価格21,000円 (税別20,000円)  
 (高さ1.8m) 価格25,200円 (税別24,000円)



高さは  
1m  
1.2m  
1.4m  
1.8m  
4種ご用意!



コーナーのマジックテープをはずせば  
車イス利用者やケガをされた方、高齢  
者の方なども楽に出入りできます。

5 多目的パーテーション（救護室、女性用更衣室及び授乳室として）

災害対策用  
**Private Room**  
**プライベートルーム**

設置や収納がワンタッチ、一瞬でプライベートルームに。  
避難された方のストレスを軽減します。

**“これなら安心”**  
私たちニードが真心を込めて  
ご提案します。

仮設救護室として      緊急仮設医務室に

**災害時、屋内での集団生活。  
被害者のプライバシーを尊重します。**



自立式フレーム一体構造！  
開くだけで瞬時に**4.4m<sup>2</sup>**の空間が、  
プライベートルームに早変わり！

**Need**

6 かまど（避難者への食事の提供、乳児用ミルクなどお湯の確保）



サイズ	Φ620 × 450mm
質量	23kg
容量	34 ㍓(汁物約 150 杯分)
セット内容	かまど、ロストル、カバー3 枚 バーナー、平釜、蓋 すくい網、収納袋 揚ザル(EG800,EG800A)

※ 今後の非常用食糧の備蓄に当たっては、高齢者や幼児等への配慮、食物アレルギーへの対応などの観点から、アルファ化米の備蓄を検討していること、また、乳児用ミルクのためのお湯の確保の観点からも有効である。

## 7 リヤカー（津波発生時の災害時要援護者等の避難支援）



サイズ	1,700 × 870 × 715mm(W×D×H)
質量	19kg
耐過重	150kg

※ 津波避難は、原則徒歩によることとしているが、足が不自由な高齢者や幼児などを乗せて運ぶことが可能なリヤカーは、交通渋滞を招く心配もなく、今回の震災においても保育所入所者をリヤカーに乗せて避難させた実績がある。

津波被災地域の懇談会等においても、整備要望が高い品目の一つである。

### ※ 補助対象外経費（消耗品）

#### ① 発電機用ガソリン缶詰（10缶×48缶）

- ・ 発災後、48時間対応可能な数量を整備するもの。

#### ② トイレ用凝固剤（50回分/セット×75セット）

- ・ 東日本大震災における1箇所当たりの平均避難者数（250人）を想定し、1人当たり1日5回で3日分（3,750回分）を整備するもの。
- ・ 今般の震災を踏まえ、学校の校舎等にある既存トイレを活用することで、女性のプライバシーにも配慮した体制整備が可能となる。

# 防災備蓄倉庫整備計画

## 【倉庫と資機材】

No.	施設名	摘要
1	久之浜中学校	
2	久之浜第一小学校	
3	四倉小学校	
4	大浦小学校	仁井田地区の避難先として
5	草野中学校	夏井川以北の下神谷地区の避難所
6	夏井小学校	
7	藤間中学校	
8	高久小学校	
9	中央台公民館	豊間、薄磯、沼ノ内地区からの受入れ実績あり
10	中央台南小学校	
11	豊間公民館	
12	江名公民館	
13	江名小学校	
14	江名中学校	
15	小名浜第二中学校	
16	小名浜武道館	
17	小名浜支所	
18	小名浜市民会館	
19	小名浜西小学校	
20	小名浜第一小学校	
21	泉公民館	藤原川の河川遡上対策として
22	汐見ヶ丘小学校	小浜、岩間地区からの避難者受入れ実績あり
23	植田東中学校	
24	植田中学校	
25	植田小学校	鮫川の河川遡上対策として
26	勿来支所	
27	錦小学校	
28	錦中学校	
29	勿来第二小学校	
30	勿来第二中学校	
31	久之浜・大久支所	
32	豊間中学校	

## 【資機材のみ】

No.	施設名	摘要
33	四倉小学校	四倉地区本部分として
34	草野小学校	夏井川以北の下神谷地区の避難所
35	中央台東小学校	豊間、薄磯、沼ノ内地区からの受入れ実績あり
36	中央台南中学校	
37	中央台北小学校	※ 地区の合意形成もあり
38	中央台北中学校	
39	小名浜支所	対象世帯が多いため
40	泉小学校	藤原川の河川遡上対策として
41	勿来支所	隣接の避難所分



- 1 平成25年度申請(倉庫と資機材)
- 1 平成25年度申請(資機材のみ)
- 1 平成27年度に申請(倉庫と資機材)